

身近な化学物質の影響とアレルギー

日時 11月28日(水) 15時30分～17時00分

場所 理学部合同C棟2階 青葉サイエンスホール

講師 角田 和彦 医師

化学物質過敏症は実験に用いられる化学物質だけでなく、建材や暖房機器などからの化学物質でも発症する疾患です。発症すると治療は容易ではなく、一般の臨床医には診断も容易ではありません。疾患の予防や発症者へ対応を可能にするためには、広く本疾患の知識が共有されている必要があります。

この講演では、本疾患に関する臨床研究の第一人者である角田和彦医師(日本臨床環境医学会評議員)をお招きし化学物質過敏症とアレルギーに関する講演をいただきます。

講師紹介：角田 和彦 (かくた かずひこ)

かくたこども&アレルギークリニック院長

東北大学医学部卒。専門は小児科・アレルギー疾患。2000年4月より8年間、厚生労働科学研究「微量化学物質によるシックハウス症候群の病態解明、診断・治療対策に関する研究」

(主任研究者 石川哲)に参加。自分自身を含め、家族にアレルギー体質があることから、常に患者の視点ももちながら 具体的なアドバイスときめ細かい診療を続けている。著書に『劇症型アレルギー』(岩波書店)、『食物アレルギーとアナフィラキシー』(芽ばえ社)など。日本臨床環境医学会評議員。

本学の教職員・学生は
どなたでも参加頂けます。

問い合わせ 理学研究科安全衛生管理室 (内線: 92-6790)
mail: anzen@mail.sci.tohoku.ac.jp

